

令和2年9月2日

稲作情報【号外】 ウンカ対策について

J A む な か た
北筑前普及指導センター

本年は秋ウンカの発生が平年より多く、福岡県病害虫防除所から発生予察警報が発表され、県内各地で坪枯れが発生しています。また、管内でも8月26日に秋ウンカによる坪枯れが確認されました。

今後、気温が高いと予想され、秋ウンカの増殖に好適な条件となりますので、発生に注意してください。

秋ウンカの発生はほ場による差があるため、発生状況を必ず確認してください。

【要防除水準】トビイロウンカ：幼虫の合計数（10株当たり）

- 飛来後第2世代（8月下旬～9月上旬） 10頭以上
- 飛来後第3世代（9月中旬～9月下旬） 100頭以上



管内の坪枯れ発生ほ場



被害ほ場の株元



秋ウンカ(成虫 約5mm)

◎【ウンカ・カメムシ防除】

剤型	薬剤名	対象病害虫	使用時期	散布量
粉剤	スタークル粉剤DL	ウンカ類、 カメムシ類	収穫7日前まで (3回以内)	3kg/10a
液剤	スタークル液剤10			1000倍
豆つぶ剤	スタークル豆つぶ			250g/10a

※秋ウンカは株元に生息しています。防除にあたっては、薬剤が株元まで届くように散布してください。深水状態にするとウンカが上部に移動してくるので、薬剤がかかりやすくなります。また、昼間は気温が上がり上昇気流が起きやすいので、朝か夕に散布を行いましょう。

※スタークル剤については、ミツバチへの影響をおよぼす可能性があるため、必ず開花終了後に散布して下さい。養蜂をされている地域につきましては、キラップ剤【粉剤・フロアブル・粒剤（※収穫14日前まで）】を使用するようにして下さい。

